



2016年9月、 宮城学院は創立130周年を 迎えました。

大学として地域・卒業生および保護者の皆様への感謝を込めて、記念行事を開催いたしました。今後とも、本学の教育にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



1 創立130周年記念大食卓会 9/25・本学小ホール

9/25(日)宮城学院に縁のある方々(卒業生や保護者の皆様など)や在学生、地域住民の方などがお友達やご家族を誘い合い、食卓を囲んでイタリアンパスタのお店「ハミングバード」とのコラボレーションメニューをいただき、本学院で楽しいひとときを過ごしました。



2 創立130周年記念音楽科コンサート 11/6・大学講堂

今年は創立130周年を記念して、いつも以上に内容の充実した多彩なプログラムとなりました。

この他にも、学校全体として、「詩画と音楽でつづる星野富弘の世界」詩画展(11/25～30・せんだいメディアテーク)・コンサート(11/26・東京エレクトロンホール宮城)などを開催しました。保護者の皆様に会場へ足をお運びいただき、ありがとうございました。



3 知恵の泉 11/25～30・せんだいメディアテーク

宮城学院の名物教授・看板教授によるレクチャー&トーク、現役教授による公開講座、日常生活に活かせる内容を学ぶワークショップなど大学ならではのバラエティーに富んだ内容で開催しました。

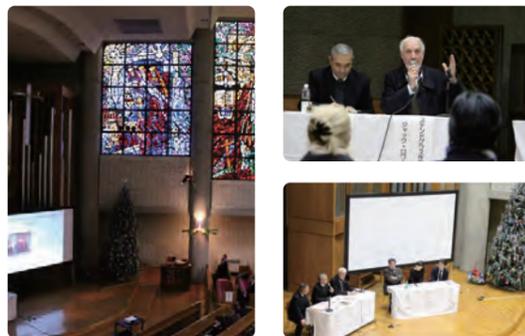


4 「ステンドグラス作家ガブリエル・ロワール氏」

回顧展(11/25～30・せんだいメディアテーク)

巡回展(12/5～12/19・本学礼拝堂エントランスホール)

20世紀を代表するステンドグラス作家で、宮城学院礼拝堂内のステンドグラス制作者でもあるガブリエル・ロワール氏のこれまでの業績を、豊富な資料をもとに振り返りました。



5 公開国際シンポジウム 「ステンドグラスとはなにか 照らされる歴史・時代・空間」

12/10・本学礼拝堂

ガブリエル・ロワール氏のご子息で、制作者のジャック・ロワール氏に宮城学院礼拝堂のステンドグラス制作の様子などについて講演をいただき、美術や建築史などの研究者によるリレー講演、パネルディスカッションが行われました。



宮城学院女子大学後援会会報

MIYAGI GAKUIN SUPPOTERS REPORT

vol.3



保護者の皆様へ

後援会会長
三井 精一

会員の皆様、こんにちは。後援会会報第3号発行に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

保護者の皆様には、常日頃から後援会の活動に、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

後援会は、保護者の皆様からご協力頂きました貴重な財源を元に、学生そして学校に対して種々の助成を行っています。更に保護者の皆様との連絡を密にすると共に、就職をキーワードに保護者の皆様向けの講演会等を実施しています。

さて、後援会活動につきましては、5月の総会で承認頂きました計画のとおり、ほぼ順調に進展しております。

宮城学院女子大学は4月より新学部が開設され4学部9学科の新たな体制でスタートをし、更に9月には、創立130周年を迎えました。学校でも様々な記念行事を計画し、今日まで着実に実行しています。後援会も11月に開催された2016音楽科コンサート等、地道に後援を続けております。

主に実施した項目は、

1 総会時の音楽科によるミニコンサートと就活の為の講演会であります。

午前中は礼拝堂にてオルガンソロ、フルートソロ、声楽ソロの演奏があり、その素晴らしさに多くの会員の皆様から感動したとの声がありました。

また午後の講演会では、後援会監事で、直接学生の採用に携わっている仙台銀行の常務取締役である高橋 博様から「企業(採用者)側からの学生の就職」と題して、ご講演を頂きました。選考解禁時期の変更等も交え、



女子大学の底力

校長・後援会顧問
平川 新

最近ある経済誌が、大学卒業者の就職率に関する記事を掲載していました。それによると、2016年春卒業者の全国平均就職率は86.3%ですが、女子大学だけの集計では88.9%と、2.6%上回っていました。宮城学院女子大学の就職率は89.6%でした。良いレベルにありますので安心しましたが、この雑誌の次のコメントにも注目しておきたいと思います。

「実は就職率の女子大優勢は、今年に限らず毎年見られる傾向なのだ。」

つまり、男女共学の大学よりも女子大学のほうが就職率がよい!ということ、この雑誌は明言しているのです。

このところ女子大学の数は全国的に減少しています。2000年に97校

実経験に基づくお話であり、「参考になった」、「勉強になった」との声を多数お寄せ頂きました。今年は学生優位の売り手市場ではありますが、就活で大事なことの一つは、保護者と学生が一体となって取り組むことだと思います。学生の活動に理解を示すと共に、人生の経験者として良きアドバイスを送って下さい。

総会は保護者の皆様の出席が一番多い行事であり、お寄せ頂いたご意見を参考に、次年度以降より一層充実させて行きたいと考えています。

2 次に地区後援会の開催であります。

地区後援会は、活動計画の重要な項目の一つであります。毎年宮城県を除く東北地区5県で開催しています。

実施項目は

- ①大学や後援会活動の近況報告
- ②就職状況や学生の就職活動体験発表
- ③個別懇談コーナーでの面談

等であります。

女子学生を親元から離しているという不安をお持ちの保護者のお気持ちを和らげる機会になったと自負しています。

特に保護者の方々からは、温かい雰囲気の中で学長先生や、教職員の方々とお話が出来て良かった。学生さんの生の声を聞く事が出来たこと。そしてインタビュー形式で細かい話を聞くことが出来たこと。また体験談は実話なので説得力に富んでいた。等々とても良かったとの意見が多数ありました。

私達後援会役員も、地区役員さんの協力も得て、全地区を訪問し、最後まで保護者の皆様と会話が出来、有意義な時間を過ごすことが出来ました。後援会は今後も企業側の動向等を注視し、より良いアドバイスが出来るようにしていきたいと思っております。

今年は、山形地区の出席人数が大幅に上昇致しました。保護者の皆様には、是非ご出席を頂きますようお願い申し上げます。

最後に保護者の皆様のご健勝をご祈念申し上げ挨拶と致します。

だった女子大学は、2014年には75校に減りました。大学間競争の激化と少子化を見据えて男女共学に転換する女子大学が増えたからです。一方で、こうした動きとは別に、女子大学再評価の声も高まっています。

男女共学の大学では女性に偏った教育はできません。しかし、女子大学では女子学生しかいませんので、女性の特性をつかんだ、女性のための教育が可能なのです。専門の学習や研究でもそうですし、就職支援のための講座、結婚・出産・子育てなどの役割を担うことが多いライフデザインのあり方など、女性が主体的に生きていくための教育やキャリア支援を充実させています。男女共学ではどうしても男子中心・男子依存の傾向がでてきますが、男子学生がいない女子大学では女子学生こそが主役です。男子学生に依存することのない学生生活もまた、自立的な活動と判断力を培っているのです。

女子大学卒業生のほうが離職率が低い、と指摘する研究もあります。手厚い就職支援の成果でしょうし、しっかりとしたキャリアデザインを学生自身が持っているからでもあります。女子大学卒業生の就職率が高いのも、うなずけます。

男女共同参画の時代にふさわしい、女性の自立と男女平等を志向する宮城学院女子大学。女子大学の良さと底力を再認識しましょう。



宮城学院女子大学後援会事務局 (大学事務部教育研究支援グループ庶務担当内)

〒981-8557 仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

TEL 022-279-4698 FAX 022-279-7566 E-mail syomu@mgu.ac.jp

2016年度後援会総会が開催されました

新緑薫る5月28日(土)、2016年度大学後援会総会が宮城学院女子大学のキャンパスで開催されました。当日は約300人の保護者の方々にご参加いただき、午前中に開催された音楽科によるミニコンサートでは礼拝堂がたくさんの人で埋め尽くされ、ステンドグラスから差し込む光の中、美しい歌声とパイプオルガン、フルートの響きをお楽しみいただきました。

午後からは総会が行われ、三井精一会長の議事進行で、2015年度事業報告、収支決算報告、監査報告、2016年度事業計画、収支予算、会則の改定、役員を選任について提案がなされ、すべての審議が承認されました。

総会終了後は、高橋博監事による『企業(採用者)側からの学生の就職』と題した講演・学生部長による活動報告・キャリア支援部長による就職状況報告と続き、その後は各学科に分かれて先生方とのクラス懇談会が行われました。また、午前・午後に行われた就職個別相談会にも多数の方が訪れていました。



ミニコンサート

オルガンの音の響きを久しぶりに聴き、忙しい日常を過ごしている中で時にはいいものだなあと機会を下さったことに感謝です。



本学礼拝オルガニスト戸田彩子氏のパイプオルガンと音楽科学生、研究生による美しい歌声とフルートの響きをお楽しみいただきました。



昼食

食品栄養学科(平本ゼミ)の学生がプロデュースしたお弁当を昼食としてご用意いたしました。



総会

三井会長による議事進行



学長挨拶



講演

ご本人もお話しておられました。が、当たり前のご経験の積み重ねが就職(面接)であられるのだと思います。最後のQandAでの「素直なこと。目字カラ」には、私も思い当たることがございました。



仙台銀行常務取締役をされている監事が企業の採用者側からの面接の経験を振り返りながら『企業(採用者)側からの学生の就職』と題して、就活をする際の保護者と学生のあり方などについて講演されました。



学科クラス懇談会

総会終了後、各学科に分かれて各学科の先生と懇談されました。



学生部報告

学生部長により本学の学生生活に関する活動報告を行いました。

とても参考になりました。親もしっかり情報を知り、勉強していかなければいけないと思いました。



キャリア支援部長により本学の就職状況などの報告を行いました。



就職個別相談会

とても勉強になりました。自分の考え方も見直すことができ、娘にもアドバイスが出来るようになります。



キャリア支援センターでは、就職に関する個別相談会が行われ、多くの保護者に参加いただきました。

地区後援会

2016年度の宮城学院女子大学地区後援会が、東北地区の5会場(8/28福島市、8/28青森市、9/3山形市、9/4盛岡市、9/11秋田市)で開催されました。

地区後援会は二部構成で行われ、まず第一部では、後援会役員から大学後援会の活動報告、昼食をとりながら教員からの新学部・学科の説明を交えた大学の近況報告、就職担当者からの本学の就職(キャリア)支援や就職状況の説明などがありました。その後は、ジュニアアドバイザー(内定を獲得した4年生)が、自身の就職活動の様子などを発表しました。保護

者の方々の関心も高く、熱心に学生の体験談に耳を傾けていました。

第二部では、「個別懇談会」が行われ、保護者の方々は学業や学生生活、就職などについて担当職員に熱心に質問をしていました。



青森地区

保護者の方々と話をする機会が全く無かったので、話ができたとよかった。もっと多くの方が参加して欲しいと思う。

教職員の方とお話ができ、あたたかい雰囲気の中とてもよかったです。

平川学長と直接お話ができたことは、大変光栄であり、よかったです。



岩手地区

本学の就職(内定)率の高さに驚くとともに、心強さを感じた。特に、各学科が目指す方向性に添った進路が実現されている。また、ひとり娘なので、親としても一発勝負な気持ちであり、そうした点で「保護者の役割」は大変参考になった。

最近の学生の現況が良く分かりました。特に、学生の生の声が聴け、司会者との質問形式によるやりとりが就活の実情を大変分かりやすいものにしてくれました。

就職(採用試験)について詳しく話を聞くことができよかったです。

地区後援会に参加された保護者の皆さまからのアンケートより



秋田地区

就職活動状況などについて安心できるお話を伺えてよかったです。キャリア支援センターなどの利用を娘にも進めようと思います。

新設された学部の説明やイベントなどを、改めて知る事ができ、参加してみたいと思いました。

大学の近況がリアルに、とても分かりやすく説明いただき良かったです。



福島地区

大学で色々キャリア教育、就職支援をしていただいていることがあってよかったです。

具体的なデータを提示して、アドバイスいただきました。子どもも共有したいと思います。

宮学の良いところである個別的なサポートができること、キャリアセンターの存在意義についてよく分かりました。

このような保護者懇談会があると、他の親御さんともふれあえて、うれしいです。



山形地区

自分の娘も、入学したばかりと思っていましたが、来年からは就職について本腰を入れなければならない学年となるので、とても参考になりました。

就職状況の高さに驚きました。個別に対応してくださるので安心しました。

現役の学生さんから生の声を伺うことができ、我が子と重ねて様々な機会となりました。

参加された保護者の皆様からこのような声をいただきました。来年も今年度と同じような時期に地区後援会を開催する予定でありますので、奮ってご参加ください。